



11月15日（金） ふるさと遠足

高学年は「遠藤周作文学館」「道の駅夕陽が丘そとめ」「大城公園」に行きました。そこで学芸員の方や駅長さんからお話を聞き、遠藤周作の人がらや道の駅が果たしている役割について知ることができました。

遠足から帰ってきてからは、発見した地域のよさについて作文を書きました。大城公園について書いた児童は、「自分たちが生活している町を展望台から見るのができた」「黒崎と出津を、同じ場所で見たことがなかったので、とても印象に残った」と活動を振り返りました。ふるさと外海を新たな視点で見つめ考える機会となりました。



11月21日（木）租税教室

税務署の方に来校いただき、税金についてお話をいただきました。私たちの生活を支えている税金の種類や使い道、もし税金がなかったら自分たちの生活はどうかを学びました。

また、1億円のレプリカを実際に持ってみるという体験もさせていただきました。ずっしりと手に伝わる感触に、1億円の重みを感じているようでした。

児童は、「税金の種類がこんなにあるなんておどろいた」「税金がなかったら自分たちの生活が成り立たなくなってしまうことを知れてよかった」と、学習を振り返り、税金について学びを深めることができました。